

みえ福祉第三者評価結果

① 第三者評価機関名

株式会社経営志援

② 施設・事業所情報

名称：西田原保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 植松 ゆかり	定員（利用人数）：80（99）名
所在地：三重県名張市西田原 2340 番地 1	
TEL：0595-65-3263	ホームページ： https://nishitawara.komoharahoiku.net/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：名張市より移管日 平成 22 年 4 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人こもはら福祉会	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員： 12名
専門職員	保育士： 22名 幼稚園教諭： 1名
	調理師： 3名
施設・設備 の概要	保育室：5室 職員室・給食室
	教材室・休憩室・調乳室 トイレ・沐浴室・倉庫

③ 理念・基本方針

保育理念

みんなの笑顔があふれ みんなで認め合い 望ましい未来を創り出す
力や心を育てます

保育目標

- 心身ともに健やかに育つ子ども
- ・ 思いきり体と心を動かし、元気いっぱい遊ぶ子ども
 - ・ 豊かな感性を持ち、感謝と思いやりのある子ども

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ①経営理念に基づき、法人施設全てにおいて職員全体研修会や美化点検を年2回実施し、質の向上や園管理に力を入れ、職員も子どもも気持ちよく利用できる園となるよう心がけている。
- ②園内では、同和・障がい・安全・虐待・食育等の研修を年間通して実施し、職員間で共通理解を深めている。
- ③地域とのかかわりを大切にし、行事への参加を募り地域交流・世代間交流を実施している。

④保護者が子どもと向き合う時間を少しでも多く取れるよう、「手ぶら登園」を導入し、子育て負担の軽減に繋げている。

⑤ICTを活用した情報共有や保育内容のリアルタイム発信により、保護者の安心に繋がるとともに、保育士が子どもとのかかわる時間を大切にしている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年 9月 1日（契約日） ～ 令和6年 3月 8日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2 回（平成 30 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

【保育の質の向上に向けた組織的な取組】

毎年の自己評価や5年ごとの第三者評価の実施、ヒヤリハットや職員一人ひとりの目標設定とその評価・見直し等、保育の質の向上に向け積極的に取り組んでいる。評価結果やそこからの課題を明確にし、職員会議等で周知のほか、園内研修のテーマとして計画への盛り込みと実施により改善に繋げている。PDCAサイクルに基づいた組織的かつ計画的な取組が行われており機能している点は評価できる。

【働きやすい職場づくりに向けた取組】

働きやすい職場づくりに努めており、退職者が少なく、園全体で風通しの良い雰囲気の良いさを感じる。持ち帰り残業0、有給休暇取得を促進し、休みが取りやすいとの声が多い。また、相談しやすい環境として、日頃のコミュニケーションのほか、園長との面談や法人による面談、園医へ相談できるよう体制を整えている。手ぶら登園やコット導入等も職員の業務負担軽減に繋がっており、働きやすい職場づくりに向け、積極的に取り組んでいる。

【地域との交流、地域貢献】

地域交流の一環として、野菜の苗植えや運動会、焼き芋等に地域住民が参加し、交流する機会を設けている。地域にも積極的に出向き、公民館で作品を展示したり地域のお寺で鐘を撞いたり講和を聴く機会等もかかわる機会が多々ある。また、地域の民生児童委員や地区長が参加する運営委員会や園庭開放の「なかよし広場」等も行われており、地域の福祉ニーズの把握とそれに基づいた活動に努めている。日頃から地域住民とのかわりが多く、地域と一緒に取り組む活動は評価が高い。

◇改善を求められる点

【事業計画の策定】

長期的な少子化傾向と深刻化する人材不足の中で安定を計るための構想として、園の移転改築やこども園への移行を視野に入れた運営のシミュレーションを行っているが、

具体的な数値目標や活動内容を示した中・長期事業計画の策定と中・長期事業計画を踏まえた単年度の事業計画の策定が望まれる。今回の第三者評価や自己評価からの課題や人材確保・育成計画、地域との関わりや地域貢献などを盛り込んだ計画の策定に期待したい。組織的に取り組む体制が構築されており、職員の参画や意見の反映も期待される場所である。

【人材確保に向けて効果的な取組の検討・実施】

人材確保は、様々な採用サイトへの登録、就職フェアへの参加、積極的な実習生の受け入れによる育成校との連携強化、職員からの紹介制度等、法人本部と連携し取り組んでいるが、採用に繋がらない現状がある。SNS等を活用して園の日頃の取組や退職者が少ない働きやすい職場環境、職員の生の声等、園が自慢できるポイントを広く積極的にアピールすること等も検討し、効果的な採用に繋がることに期待したい。

⑥ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・第三者評価を受審し、取り組んでいる事を明文化し誰が見てもわかるようにしておくことや、更なる質の向上を目指してのアドバイスをいただくことができました。

・2年後の認定こども園移転に向け人材確保を目指していきます。また、今回の評価結果を職員間で共有し、意識を高め保育に取り組んでいきたいと思っております。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。